

(C) Copyright CANVASs Co., Ltd.

=====
【ソフト名】SST G1Pro アップデートインストーラ
【対象製品】SST G1 Pro 日本語版 / 英語版
【登録名】SST G1 Pro Ver.1.1.17
【アプリケーション名】setup.exe
【著作権者】株式会社カンバス
【動作環境】Microsoft Windows 7/ 8 / 8.1 / 10 日本語版 / 英語版
【配布条件】 1) ダウンロードしたファイルの再配布を禁止します。
 2) 他のメディアへの一切の転載を禁止します。
=====

<Ver.1.1.17> 2016.3

本バージョンアップによる変更内容

1) **最終チェック機能**を実装しました。

納品前に、エラー箇所を瞬時に把握するための機能です。

最近増えつつある「禁止用語」の作品別登録・チェック機能も搭載されています。

2) メニューバーの操作性を改善しました。

変更前

ファイル(F) 編集(E) 設定(O) 検索等(S) ヘルプ(H)



変更後

ファイル(F) 編集(E) 字幕(S) 検索等(P) 設定(O) チェック(C) インポート(I) エクスポート(R) ヘルプ(H)

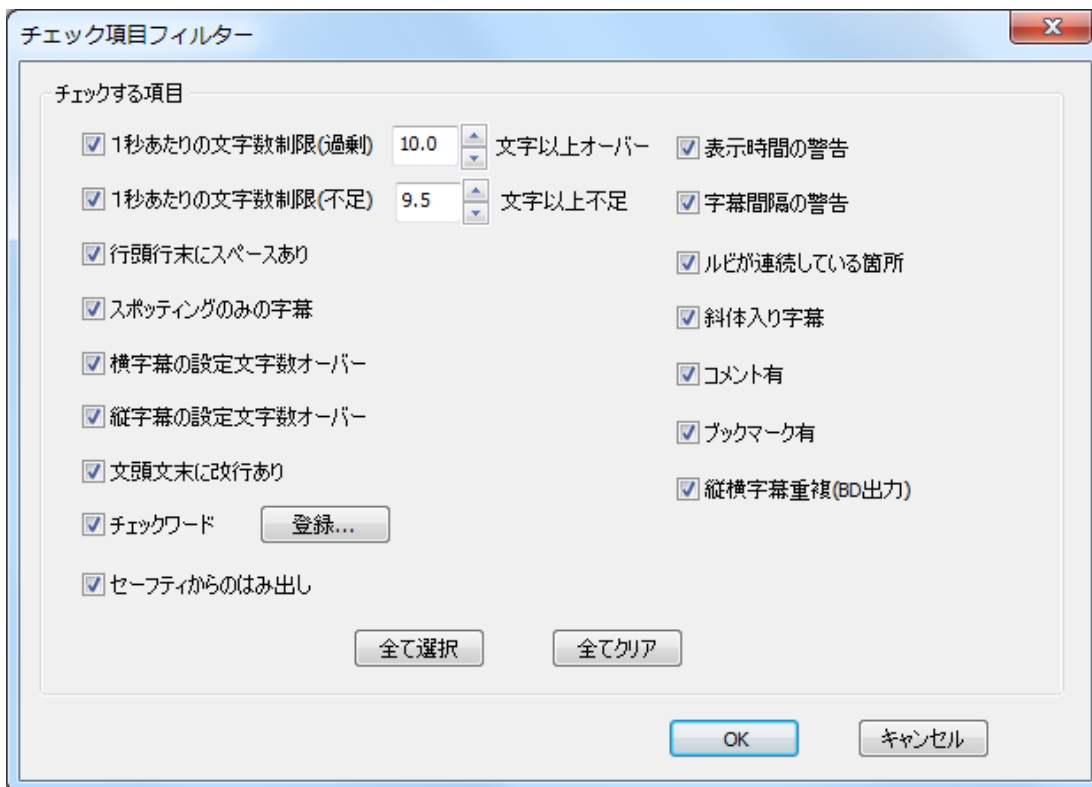
3) iTT ファイルエクスポートを機能拡張しました。(※有料オプション)

4) Srt インポートオプションを実装しました。(※有料オプション)

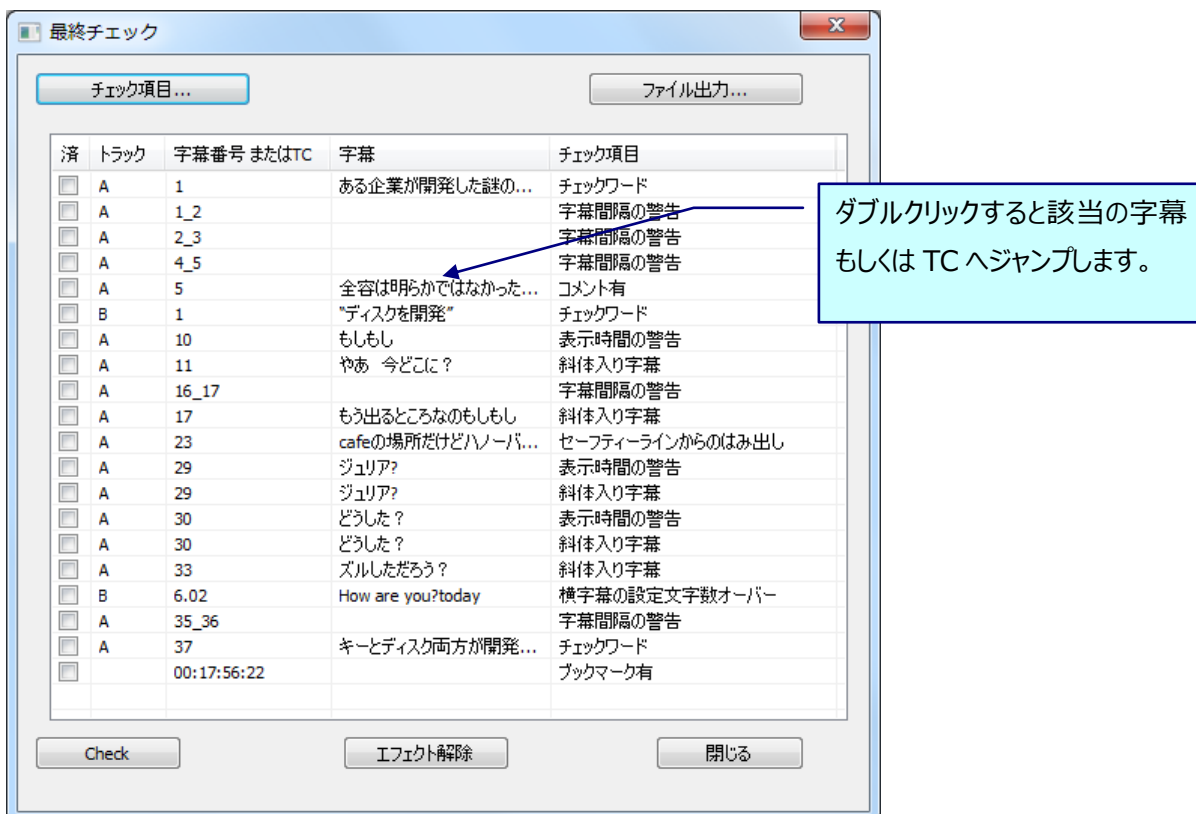
5) WMV と Mpeg1 を自動的に Direct Show で再生するための設定を追加しました。

1) 最終チェック機能 ([チェック]-[最終チェック]から選択)

●下記項目を選択した上で、s d bをチェックできる最終チェック機能を実装しました。



●この機能を利用し、保存したs d bをチェックすると以下のような結果が表示されます。

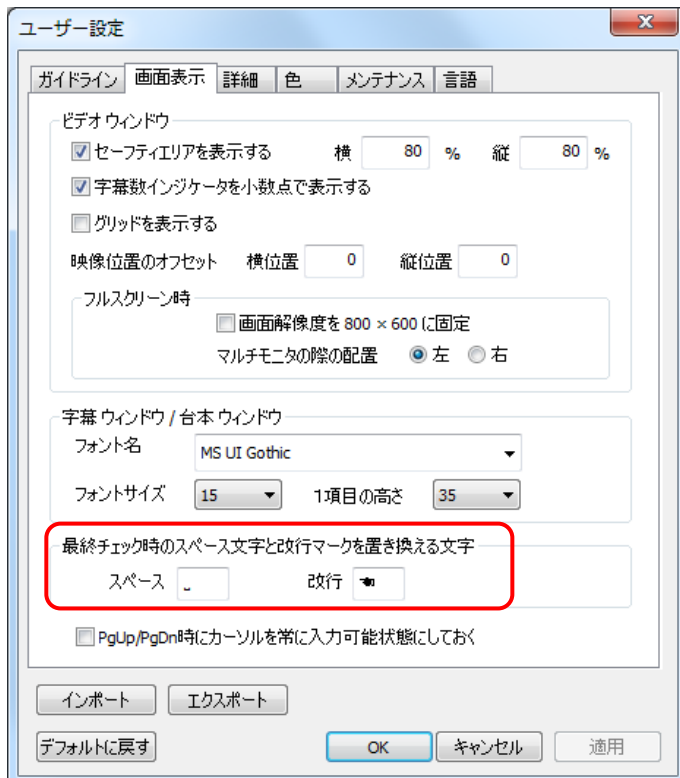


●チェック結果は csv でファイル出力することが可能です。

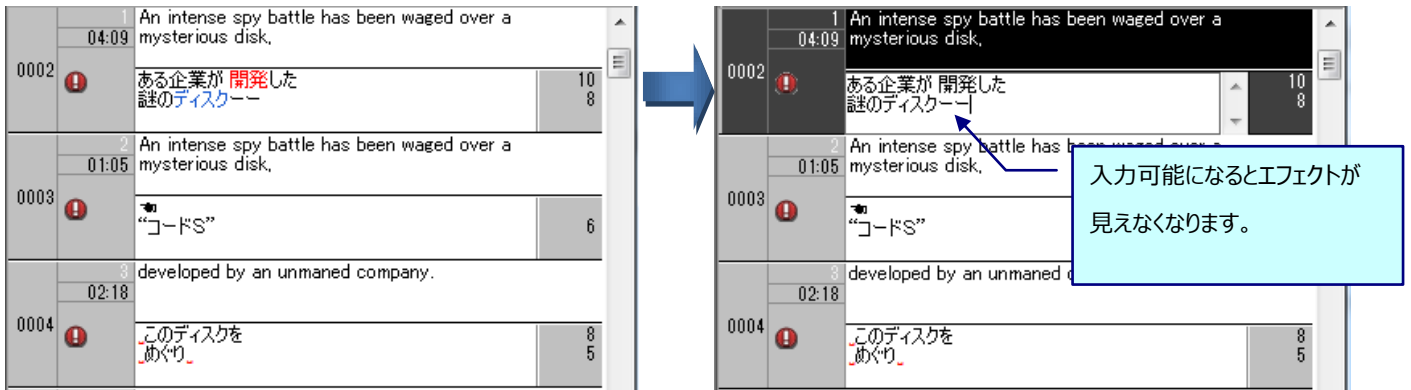
●チェック項目の一部には、チェック後にエフェクトがかかります。

0002	1	An intense spy battle has been waged over a mysterious disk,	
	04:09	ある企業が 開発 した 謎の ディスク —	10 8
0003	2	An intense spy battle has been waged over a mysterious disk,	
	01:05	☛ “コードS”	6
0004	3	developed by an unmaned company.	
	02:18	このディスクを めくり	8 5

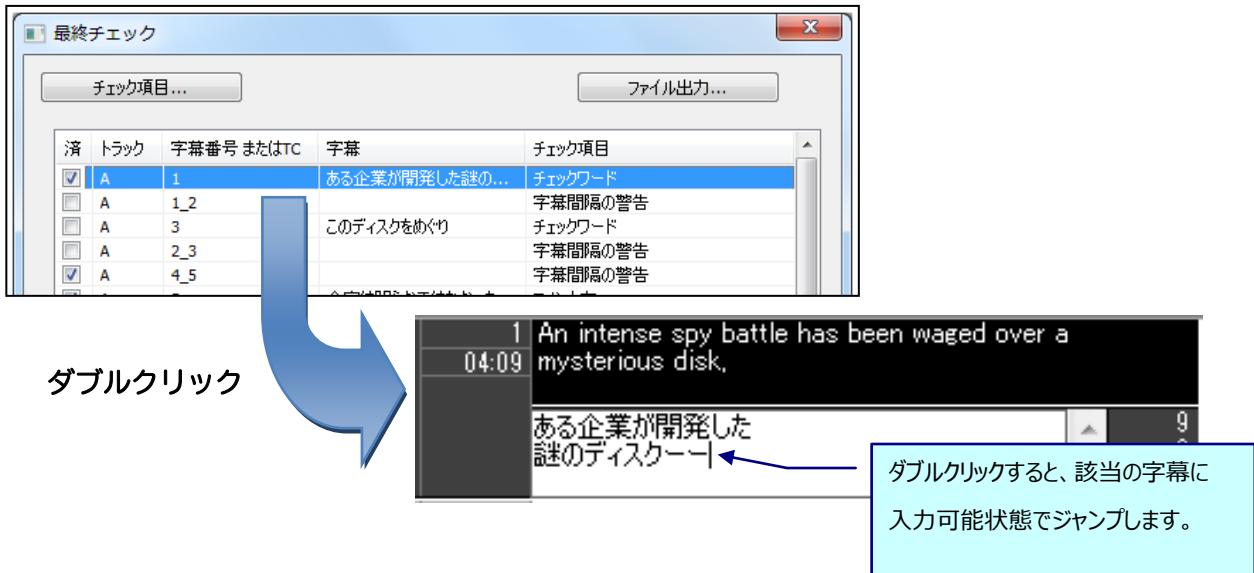
- ① チェックワードには**赤字のエフェクト**がかかります。
- ② 行頭行末のスペースには、任意で指定した記号や文字が**赤色**（上記では **_**）で表示されます。
- ③ 文頭文末の改行は、任意で指定した記号や文字（上記では **☛**）が表示されます。
- ④ 斜体入りの字幕は斜体部分が**青字**で表示されます。
- ⑤ エフェクトはエフェクト解除ボタンもしくは[チェック]-[チェックエフェクト解除]で解除できます。
- ⑥ 「行頭行末のスペース」と「文頭文末に改行あり」のエフェクト文字はユーザー設定→「画面表示」→「最終チェック時のスペース文字と改行マークを置き換える文字」の項目にて**直接置き換える文字を入力して**設定します（フォントを変えると当該文字がない場合があるのでご注意ください）。



●修正作業中はエフェクトが一時的に消えるのでご注意ください。



●ダブルクリックでジャンプした際は、以下のような表示となります。



●チェックワード（禁止用語）は、作品別に登録することが可能です。

チェック項目フィルター画面の「チェックワード」の[登録]ボタンから登録を行います。

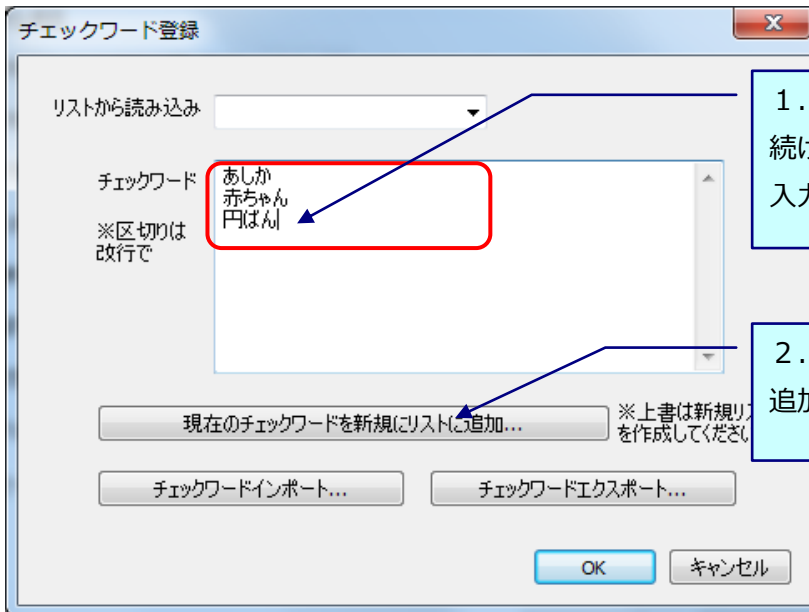
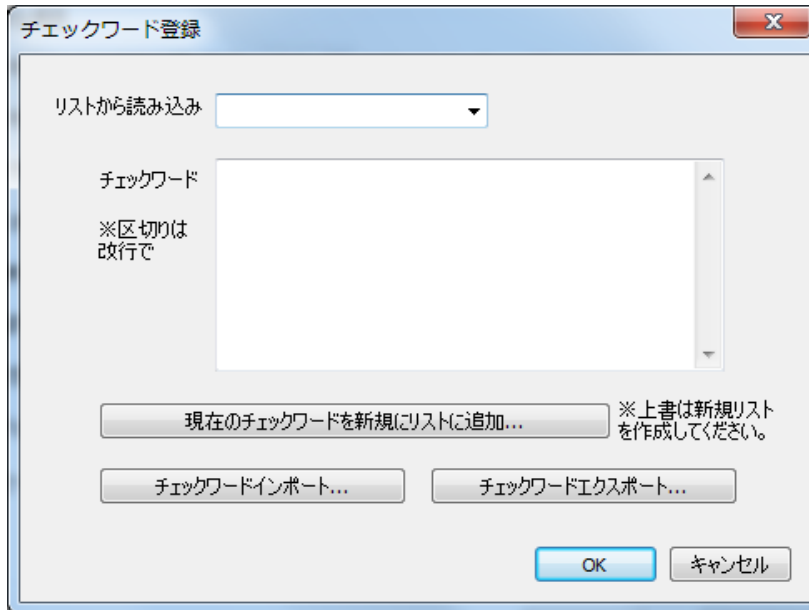
○チェックワード登録

以下のパターンで手順が異なりますのでご注意ください。（※フォーマット登録と同じ仕様です。）

- 1) 初めてリストを登録する場合
- 2) 2回目以降にリストを登録する場合
- 3) 既存のリストにワードを追加する場合

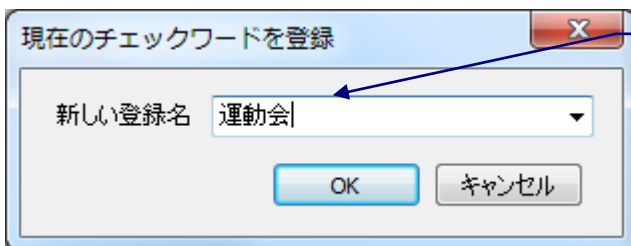
1) 初めてリストを登録する場合

何も登録されていない状態でチェックワード登録画面が表示されます。



1. 登録したいワードを入力します。続けて登録する場合は Enter で改行して入力します。

2. [現在のチェックワードを新規にリストに追加]をクリックします。

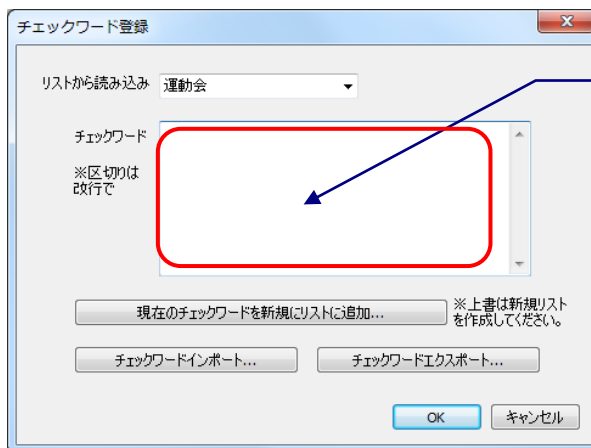
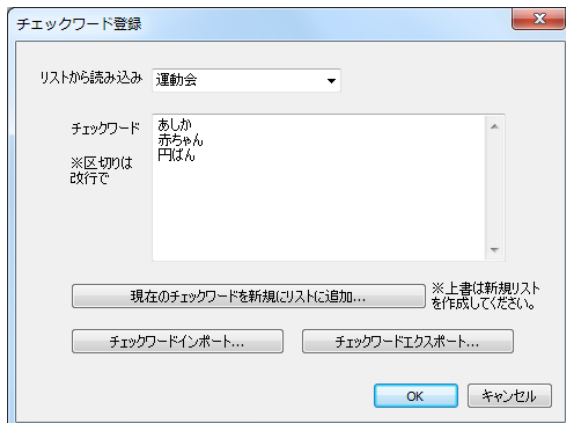


3. リストの登録名を入力し、[OK]をクリックします。

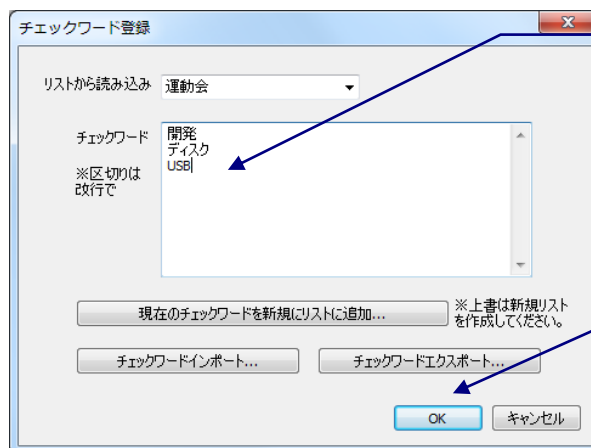
4. チェックワード登録画面で[OK]をクリックします。[キャンセル]で閉じるとリストは保存されません。

2) 2回目以降にリストを登録する場合

デフォルトでは前回チェックしたリストの内容が表示されています。

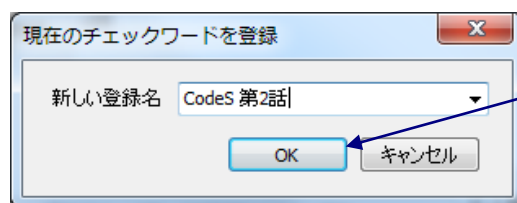


1. パスワード欄のワードをすべて削除します。



2. 登録したいワードを入力します。
続けて登録する場合は Enter で改行して入力します。

3. [現在のパスワードを新規にリストに追加]をクリックします。

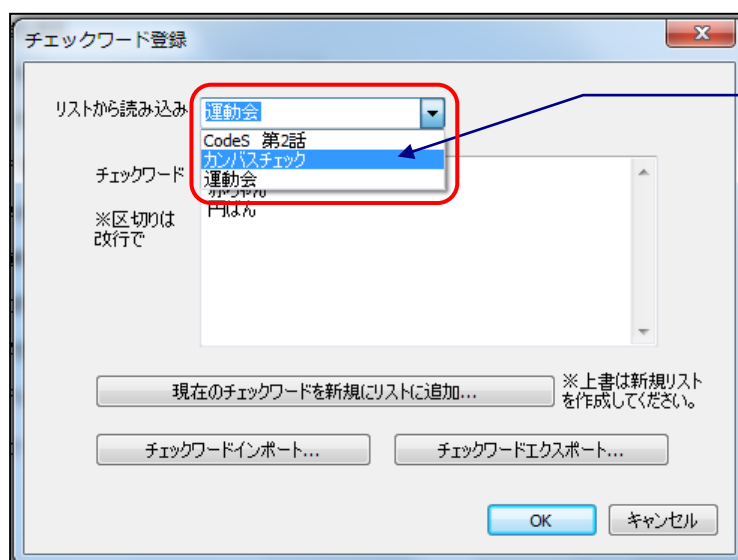
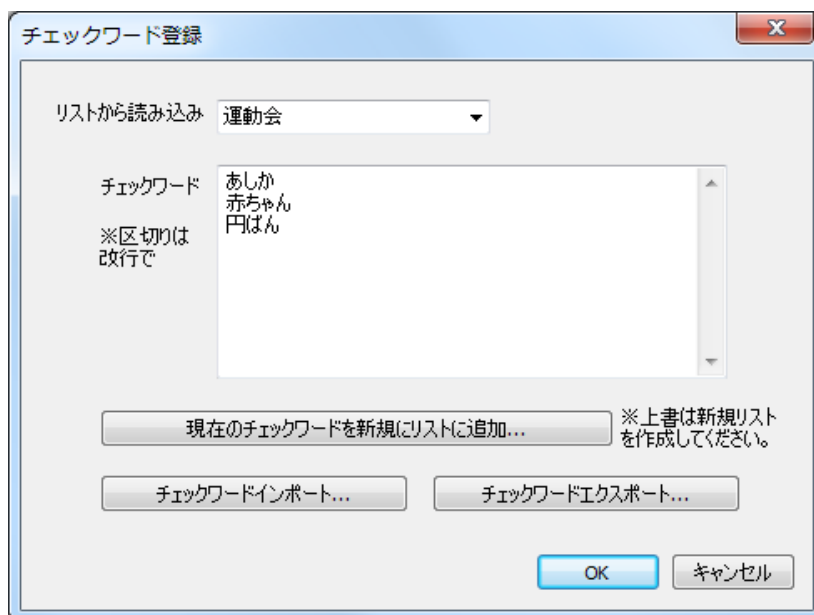


4. リストの登録名を入力し、[OK]をクリックします。

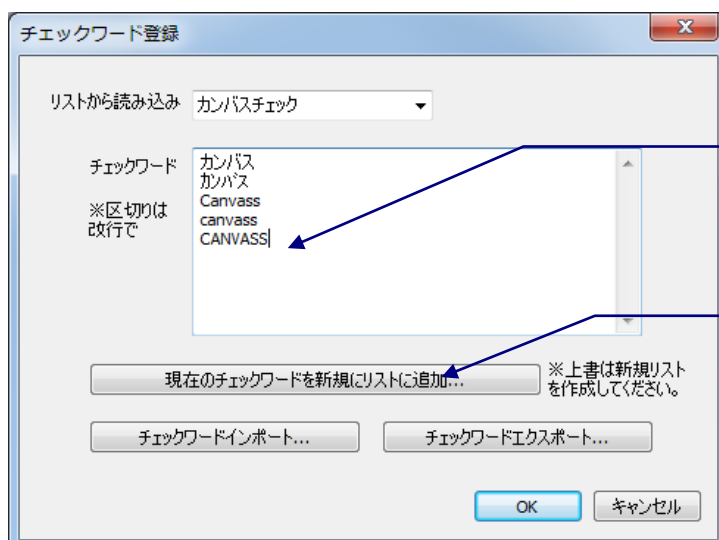
5. パスワード登録画面で[OK]をクリックします。[キャンセル]で閉じるとリストは保存されません。

既存のリストにワードを追加する場合

デフォルトでは前回チェックしたリストの内容が表示されています。

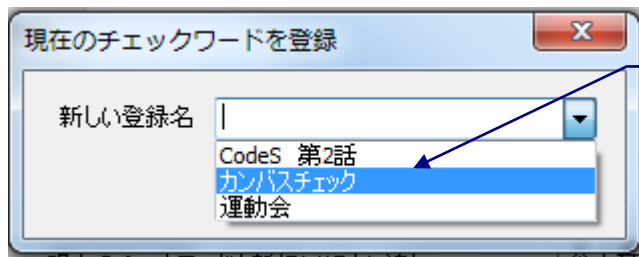


1. プルダウンから追加したいリストを選択します。



2. 追加したいワードを Enter で改行して入力します。

3. [現在のチェックワードを新規にリストに追加]をクリックします。



4. プルダウンから追加したいリスト名
を選択し、OK をクリック
(上書きされます)

5. チェックワード登録画面で[OK]をクリックします。[キャンセル]で閉じるとリストは保存されません。

●**チェックワード（禁止用語）リストは、インポート/エクスポートすることが可能です。**
制作会社様と映像翻訳者様との間で、チェックワードのスムーズな共有が可能となります。

●最終チェック機能を使う際の留意点

- ① チェックは最後に保存された sdb に対して行われます。字幕を修正後に保存しないと修正内容が反映されずチェックにかかってしまいますので、再チェックをされる際には sdb を保存してから行ってください。
- ② 「行頭行末のスペース」と「文頭文末に改行あり」のエフェクト文字はユーザー設定→「画面表示」→「最終チェック時のスペース文字と改行マークを置き換える文字」の項目にて設定します。
- ③ 字幕枚数が多い字幕で、縦横字幕重複(BD 出力、横横の重複もチェック可)のチェックを行う場合、結果が出るまでに少々時間がかかる場合があります (BD 出力等)。
(CPU が core i5 の PC で 1700 枚弱の字幕のチェック結果が出るまで 8 秒程度かかります)
- ④ 「セーフティからのみ出し」チェックと「縦横字幕重複(BD 出力)」チェックは、字幕を出力する際の画像ファイルを比較しているため、G1 上の見た目では重複が確認されない場合があります。
- ⑤ 「ルビが連続している箇所」のチェックは、例えば、「株式会社」という単語に対し、「株式会社 (かぶしきがいしゃ)」とルビをつけている場合はチェック対象となりません。「株式 (かぶしき)」「会社 (がいしゃ)」と別々にルビをつけている場合をチェックします。

例) ・チェック対象 (ルビが重なっていても対象) ・チェック対象外

かぶしきがいしゃ
株式会社

かぶしきがいしゃ
株式会社

- ⑥ 「チェックワード」にて、単語の途中で改行が入る場合、チェックワードにヒットしませんのでご注意ください。

例) ・登録チェックワード 「インターナショナルスクール」

・字幕表記 「私は小学校のときインターナショナル//スクールに通わされていた」(//=改行)
⇒この場合、当該の字幕表記はチェックワード検索には引っかかりません。

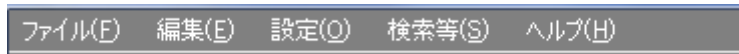
・最終チェック項目詳細 (★は字幕 BOX にエフェクトあり)

チェックする項目	チェック内容	備考
1秒あたりの文字数制限(過剰)	最高文字数(ユーザー設定の「文字数(/秒)」×デユレーションの使用できる文字数)より、○文字オーバーしている。	設定可能範囲は 0~10
1秒あたりの文字数制限(不足)	最高文字数(ユーザー設定の「文字数(/秒)」×デユレーションの使用できる文字数)より、○文字不足している。	設定可能範囲は 0~9.5
行頭行末にスペースあり (★)	行頭もしくは行末にスペースがある。	
スポッティングのみの字幕	スポッティングのみの空の字幕が存在する。	
横字幕の設定文字数オーバー	横字幕がユーザー設定の「文字数(/行)(横)」の1行あたりの文字数よりオーバーしている。	
縦字幕の設定文字数オーバー	縦字幕がユーザー設定の「文字数(/行)(縦)」の1行あたりの文字数よりオーバーしている。	組み文字は1文字としてカウント
文頭文末に改行あり (★)	文頭もしくは文末に改行がある。	
チェックワード (★)	チェックワードに登録した文字が存在する。	
セーフティからのみ出し	セーフティエリア外に字幕が出ている。文字自体はエリア内にある場合でも、マスクをつけてはみ出るようであればチェック対象。	
表示時間の警告	ユーザー設定の「字幕表示時間」設定の「警告」の数値以下の字幕。	
字幕間隔の警告	ユーザー設定の「字幕の間隔」設定の「警告」の数値以下の字幕間隔。	
ルビが連続している箇所	文字に連続してルビがついている。	
斜体入り字幕 (★)	斜体が設定されている。	
コメント有	コメントがついている。	
ブックマーク有	ブックマークのある箇所のタイムコードを表示。	最終チェック画面の一番下に表示
縦横字幕重複(BD出力)	Blu-Ray Sonic のエクスポートにて ABトラックで字幕が重なっていてエラーとなる字幕。横字幕と横字幕が重なっていた場合もチェック対象。	

2) メニューバーの操作性を改善しました。

メニューバーのカテゴリを各項目へアクセスしやすいように変更しています。

変更前



変更後



本変更により、各メニューが下記のように変更になっています。

大項目	小項目	大項目	小項目
ファイル	新規作成ウィザード	編集	元に戻す
	新規		やり直し
	プロジェクトファイルを開く		切り取り
	プロジェクトファイルを閉じる		コピー
	上書き保存		貼り付け
	名前を付けて保存		クリア
	SSTG1 用に 24Fr で保存		全て選択
	映像ファイルを開く		
	映像ファイルを閉じる		
	レンダリング		
	アプリケーションの終了		

大項目	小項目	大項目	小項目
字幕	ブックマーク	検索等	字幕検索
	字幕削除		フォーマットの検索
	字幕番号の振り直し		置換
	字幕移動		検索属性指定
	字幕情報一括削除		sdb 検索 (※)
	字幕番号ジャンプ		

※以前のバージョンでの名称は「他プロジェクトファイルを検索」

大項目	小項目	大項目	小項目
設定	フォーマット設定	チェック	最終チェック
	デフォルト・フォーマットリスト		チェックエフェクト解除
	映像とタイムコードの同期		Netflix用データチェック
	画面調整(画角)		
	ユーザー設定		
	ショートカットキー設定		
	文字カウント		

※インポート・エクスポートは、これまでのバージョンの[ファイル]–[インポート] or [エクスポート]で表示されるメニューより、順番のみの変更となります。

※最近使用したファイルは、これまで4ファイルまででしたが10ファイルまで表示されるようになりました。

※ヘルプは変更ありません。

3) iTT ファイルエクスポートを機能拡張しました。(※有料オプション)

iTunes用の字幕ファイルである iTT ファイルのエクスポート機能が、日本語のルビや縦書きに対応したものとなりました。

こちらは Apple 社の仕様「FilmAddendumRubyandVerticalExtensionsRev.1」に対応したエクスポート機能となっており、基本機能に搭載されている iTT エクスポート機能では対応していなかった下記のエフェクトがエクスポート可能となります。

- ・ルビ
- ・縦書き
- ・縦横の2枚同時出し字幕
- ・傍点
- ・ダーシ
- ・縦書きのダブルコーテーションなどの文字コード変更

価格：300,000円(税込)

※消費税増税後も価格を維持する予定です。

※複数導入の場合、2本目以降の割引を予定しております。

4) Srt インポートオプションを実装しました (※有料オプション)

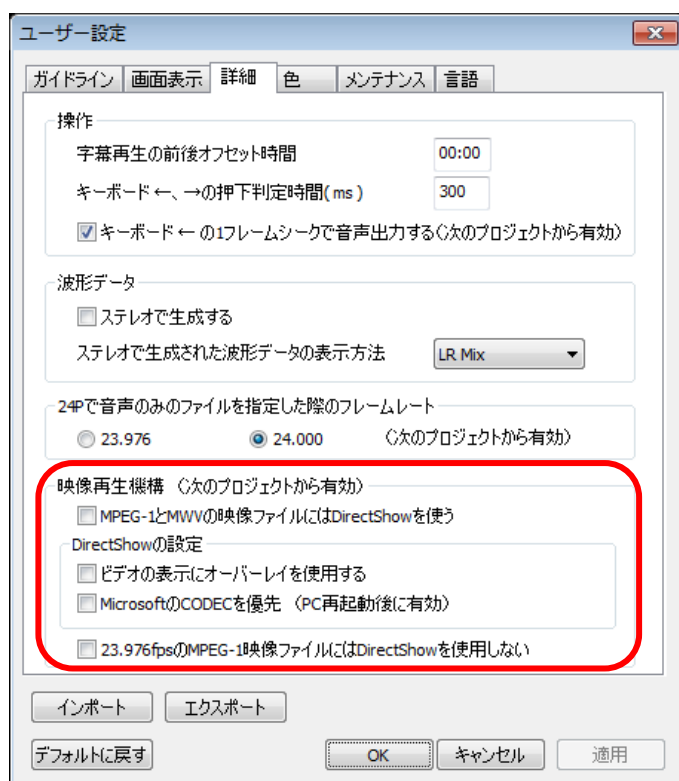
Sub Rip Text ファイルのインポートオプションを実装しました。

タグ情報としてインポート可能なのは、斜体のみとなります。その他のタグはそのまま文字列として読み込まれますのでご注意ください。3つ以上タイミングの重なっている字幕については、エラーとなります。また、SRT ファイルの特性上タイムコードではなく実際の時間が入っているため、インポートの際には、30DF の基本設定でインポートしていただき、インポート後フレームタイプ変換にて各作業用映像に合ったタイムコードに変換していただければと思います。

価格：98,000 円 (税別)

5) Mpeg1 と WMV を自動的に Direct Show で再生するための設定を追加


MPEG-1 ファイル/WMV ファイルを開いた際に、自動的に Direct Show (SSTG1 モード) を使って再生をする機能を追加しました。[設定]-[ユーザー設定]-[詳細]タブより設定が行えます。



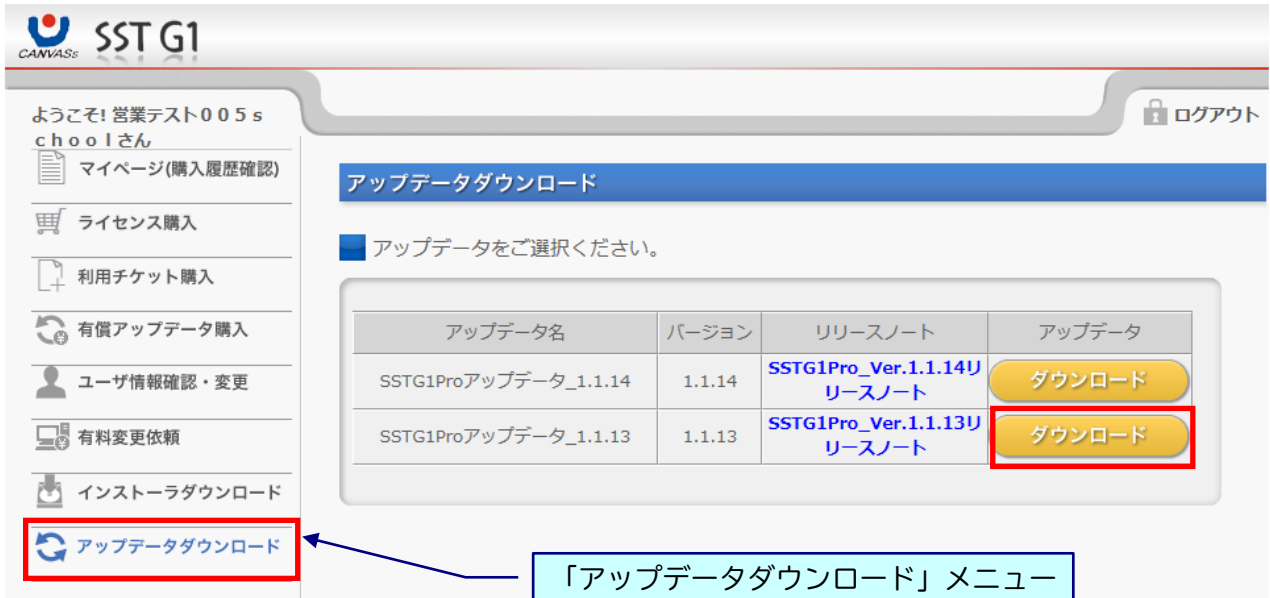
※例外

フレームレートが 23.976fps の MPEG-1 ファイルにつきましては、「23.976fps の MPEG-1 映像ファイルには Direct Show を使用しない」にチェックを入れることにより新再生機構での再生も可能となります。ただし、この場合、フレームタイプは「24P」となりますのでご注意ください (従来の SSTG1 や Direct Show 使用では「24Fr」となります)。

アップデートのダウンロード

 初めて SSTG1Pro をインストールする場合は、インストーラダウンロードより、インストーラをダウンロードして下さい。アップデートは不要です。

ユーザーページ (<https://netsstg1.co.jp/webauth/usr-login>) よりログインし、「アップデートダウンロード」より、該当のバージョンのアップデートをダウンロードしてください。



アップデート名	バージョン	リリースノート	アップデート
SSTG1Proアップデート_1.1.14	1.1.14	SSTG1Pro_Ver.1.1.14リリースノート	ダウンロード
SSTG1Proアップデート_1.1.13	1.1.13	SSTG1Pro_Ver.1.1.13リリースノート	ダウンロード

「アップデートダウンロード」メニューより、[ダウンロード]ボタンを押して、ファイルをダウンロードします。

アップデート方法は、ダウンロードファイルの中に入っている「SSTG1Pro_アップデートガイド.pdf」をお読みください。